

よくみられる消化器疾患の漢方治療



入江 祥史 先生

証クリニック吉祥寺

1991年 大阪大学医学部医学科 卒業
 1995年 大阪大学大学院医学研究科 修了(医学博士)
 2000年 Harvard Medical School (Research Fellow)
 2002年 弘前大学医学部付属病院老年科 助手
 2003年 慶應義塾大学医学部東洋医学講座 助手/慶應義塾大学病院漢方クリニック 医長
 2005年 慶應義塾大学医学部漢方医学講座 非常勤講師
 2008年 証クリニック吉祥寺 院長
 2012年 東邦大学大森医療センター大森病院 東洋医学科 客員講師(兼任)

はじめに

日常診療でよく遭遇する機能性消化器疾患の2症例を提示し、漢方薬は証に随って用いることにより効果を発揮することを述べる。

症 例

【症例1】 32歳 女性、空気嚥下症(呑気症: aerophagia)

主 訴: 腹部の張り、腹鳴、便秘と下痢を繰り返す
現病歴: 幼少時より便秘があり、16歳より突然の腹鳴、腹脹やげっぷを来すようになった。器質的異常はなく、過敏性腸症候群の診断で治療を受けていたが症状は安定せず、麻子仁丸、桂枝加芍薬湯も効果がないため、X年2月に漢方専門医による治療を希望して受診した。

現 症: 身長160cm、体重51kg、血圧 94/57mmHg であり、やややせ型、色白で神経質そうであった。

症状は、朝は軽度だが昼～夕方にかけて増悪しやすく、また睡眠不足や疲労時、飲酒後に増悪しやすい。麺類、水分を摂ると空気を嚥下するため悪化するが、休日明けには症状は出現しにくい。胸に痞えがあることが多く、典型的な呑気症である。月経は正常で、食欲も普通にあるが、憂うつで物忘れが多い。舌診は淡紅舌、脈診は浮緩、腹診異常所見はない。漢方医学的には、肝気鬱結から生じた気滞による脾胃の機能失調と診断した。

経 過: 茯苓飲合半夏厚朴湯投与により、便秘は解消し、他の症状も改善したが、効果が頭打ちになったため、構成生薬を絞り半夏厚朴湯とした。症状は改善したが、なお残存するため、肝気鬱結に配慮し柴朴湯に転方したところ、すぐに悪化した。再度構成生薬を絞り、小半夏加茯苓湯に転方したところ、症状は数日で消失し、X+1年2月に治療を終了した(図1)。

考 察: 本症例は、小半夏加茯苓湯によって気滞が解除され、全ての症状が消失したと考えられる。このように生薬数を増やすのではなく、時には絞ることも重要である(図2)。

図1 症例1(32歳 女性)の経過

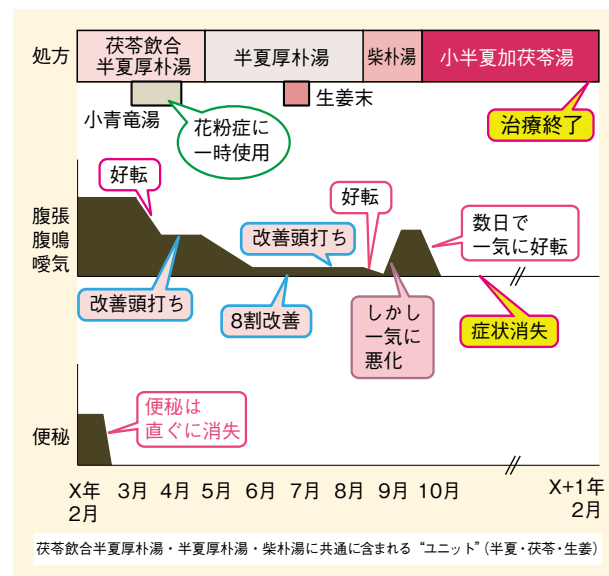
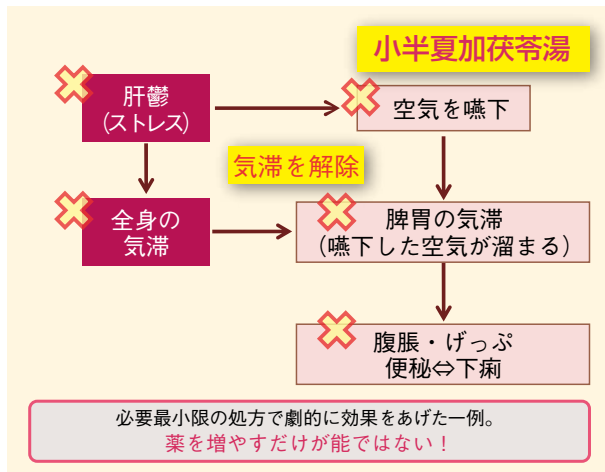


図2 症例1のまとめ(漢方・中医学的病態)



【症例2】 30歳 女性、機能性ディスペプシア (Functional Dyspepsia: FD)

主 訴：胃痛、胃のもたれ感

現病歴：元来ストレスで胃痛を来しやすい。X-4年に心下部刺痛が頻発するようになり、プロトンポンプ阻害薬などによる内科的な治療を開始したところ刺痛は消失したが、胃もたれが残存していた。X-1年に精査するも器質的異常は認められず、FDと診断され六君子湯を投与されたが症状の改善は十分でなく、X年4月に漢方専門医による治療を希望して当院を受診した。

現 症：身長161cm、体重52kg、色白である。焦燥感が強く、眼にクマがある。入眠困難・中途覚醒(+)、憂鬱(月経前)、緊張性頭痛(++)・肩こり(++)がある。尿・便は正常だが月経不順で周期は平均39日、経血に凝血塊混(+)、月経痛(++)がある。舌は胖大、白厚苔(+)で舌質は暗赤色、脈は沈弦細でやや洪、腹診は腹壁緊張(+)・心下部圧痛(+)・胸脇苦満(++)、振水音(+)・臍傍部圧痛(++)であった。以上の所見から肝気鬱結(青下線部)と瘀血(赤下線部)が結びついて起こった脾胃の失調と考えた。

経 過：六君子湯を再開し1ヵ月間投与するも症状に変化がなかったため、証に随って加味逍遙散に転方したところ、症状は徐々に消失した。さらに投与

量を漸減し、X+2年3月に治療を終了した(図3)。

考 察：本症例のように証を丁寧に拾い上げて、個々の生薬の作用を理解し、それを積み上げて効果をあげることも重要ではないと思われる(図4)。

図3 症例2(30歳 女性)の経過

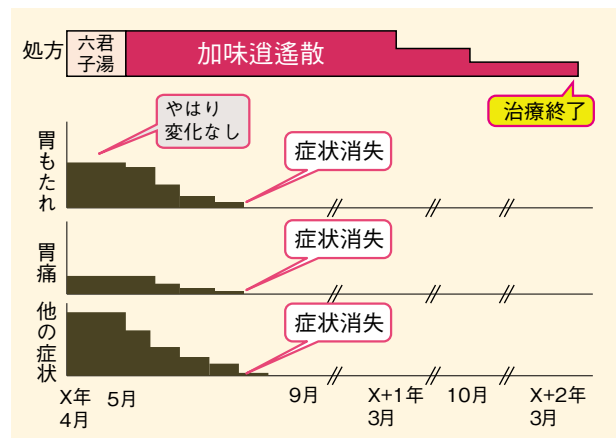
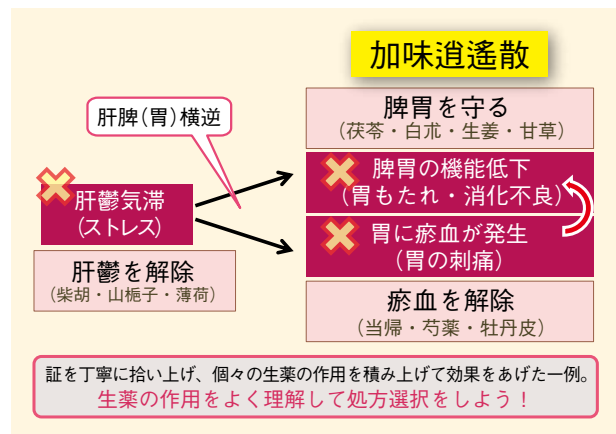


図4 症例2のまとめ(漢方・中医学的病態)



Comments

後山：症例2は、症状がなくなってから加味逍遙散を徐々に減らしていますが、減らす際の目標はありましたか。

入江：普通はどんどん減らすのですが、本症例は以前からあった月経関連の症状が加味逍遙散で抑えられており、患者さんが継続服用を強く希望されたため、ゆっくりと減らしました。